

「九州学院大同窓会 総会・懇親会2025」を開催 ～讃美歌312番を声高らかに～

＜見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び＞（詩編133）

母校への支援の活性化も目指し

同窓会会長 廣島 秀二 (S26回)



同窓会長に就任してから早3年が経過しました。猛威を奮った新型コロナウイルスの流行が収束した2年前に大同窓会を再開し、今回再開後3回目を迎えたが、多くの教職員・旧職員の先生方にご出席いただいたこともあり、400人を超す皆様が出席され、大へん喜んでいただきました。感謝申し上げます。

2024年度は、初めての試みとして寮生を元気づける寮生とのバーベキュー懇親会を開いたところ、練習中のクラブ生も参加し、大盛況でした。また、若手の会による「チャペルで二十歳を祝う会」やリディア会による九学祭での物品販売なども例年どおり継続して活動を行なっています。

生活困窮者への奨学制度も、昨年度の3学期からではありますが実施していただきました。奨学制度に対しては今後とも寄与していければと思います。

今年は、ブラウン・メモリアル・チャペル献堂百周年にあたりますので、覚えていただければ幸いです。支部活動へのバックアップなどの同窓会活動の活性化・母校への支援の変わらぬ推進を、昨年に引き続き今後も進めていく所存です。

同窓生の皆様、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



4月18日(金)、「九州学院大同窓会定期総会・懇親会2025」が熊本ホテルキャッスルにて開催されました。S55回(91歳)からS75回(21歳)までの卒業生、現職の教職員、育友会役員など、遠くは東京、関西等から、400名の参加者を数えました。

総会では、2024年度活動報告・同決算報告、監査報告、2025年度活動計画・同予算案等が承認可決されました。続いての懇親会ではRKK番組ディレクター・パーソナリティー奥田圭氏(鳴瀬公治・S31回)と吉田佐知子氏(S53回)の司会により、冒頭にアトラクションとして九州学院チアダンス部が恒例の演技を披露した後、齊藤基宗主任の奨励により讃美歌312番(いつくしみ深き友なるイエスは)を参加者全員で声高らかに斉唱し、同窓会や学院関係の物故者をおぼえての祈りが捧げられました。

その後、福田桐九州学院理事長(S18回)などの各代表挨拶の後、参加者たちは久々の再会を喜び合い、学生時代の思い出話や近況を語り合うなど歓喜の声があふれに満ち溢れました。最後に堤建太氏(S52回)のエルトリードにより参加者全員で九州学院校歌を唄い、無事にお開きとなりました。

この会を開催するにあたり多大なるご尽力を頂きました、卒業回数2と7の付く学年代表からなる大同窓会実行委員会(大津英敬(S37回)委員長、若手の会、リディア会、祭九学会の役員の皆様、ほんとうにお疲れ様でした。

2025年度活動計画
4月・中高入学式
大同窓会総会懇親会
5月・育友会総会
10年会費について説明
6月・奨学金授与式
同窓会新聞発行
9月・常任幹事会
10月・奨学生・給費生を励ます会
高校3年役員に10年会費について依頼
11月・「九学通信」に「同窓会だより」を掲載
「同窓会広告紙面」を発行

2025年度活動計画
4月・中高入学式
大同窓会総会懇親会
5月・育友会総会
10年会費について説明
6月・奨学金授与式
同窓会新聞発行
9月・常任幹事会
10月・奨学生・給費生を励ます会
高校3年役員に10年会費について依頼
11月・「九学通信」に「同窓会だより」を掲載
「同窓会広告紙面」を発行

2025年度活動計画
4月・中高入学式
大同窓会総会懇親会
5月・育友会総会
10年会費について説明
6月・奨学金授与式
同窓会新聞発行
9月・常任幹事会
10月・奨学生・給費生を励ます会
高校3年役員に10年会費について依頼
11月・「九学通信」に「同窓会だより」を掲載
「同窓会広告紙面」を発行

2025年度活動計画
4月・中高入学式
大同窓会総会懇親会
5月・育友会総会
10年会費について説明
6月・奨学金授与式
同窓会新聞発行
9月・常任幹事会
10月・奨学生・給費生を励ます会
高校3年役員に10年会費について依頼
11月・「九学通信」に「同窓会だより」を掲載
「同窓会広告紙面」を発行

2025年度活動計画
4月・中高入学式
大同窓会総会懇親会
5月・育友会総会
10年会費について説明
6月・奨学金授与式
同窓会新聞発行
9月・常任幹事会
10月・奨学生・給費生を励ます会
高校3年役員に10年会費について依頼
11月・「九学通信」に「同窓会だより」を掲載
「同窓会広告紙面」を発行

九州学院大同窓会

発行
九州学院同窓会
責任者・廣島秀二
編集人・小手川勲
熊本市中央区大江5丁目2-1
九州学院内
096-366-4533
https://kyugakudousokai.jp
題字は
紫垣正弘・元同窓会会長



なお、今回は参加者が一番多かった学年、S27回(68歳の皆様)には記念品として九学ハンカチが贈呈されました。同窓会が来年も盛大に行われますよう、同窓会会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

万人の「喜びの人生」の実現を願い

リディア会会長 吉岡 佑佳子 (S49回)



同窓会女性部会「リディア会」の名称の「リディア」とは新約聖書に登場する女性です。現代というキャリア・ウーマンであり「フィリピの教会」を設立したと考えられている女性です。九州学院OGの方々がそれぞれ苦勞の多い状況の中で、リディアのように多くの人を支え、よく理解して「喜びの人生」を送ることができることを願い、小副川前院長に命名して頂きました。

リディア会が発足3年目を迎えますが、これまでの主な活動としては、大同窓会や二十歳を祝う会でのお手伝い、九学祭にて物販、茶話会等を開催致しました。今後は、火の国祭りの参加、学校でのハロウィンパーティーなど、育児真っ只中のOGの皆様がお子様連れでも楽しめる企画を検討しております。OGの皆様、是非ご参加頂ければ幸いです。

九州学院は男女共学から30年を迎え沢山のOGがそれぞれの場所で活躍しております。

微力ではありますが、同窓会および母校の発展に貢献できればと思っております。ご支援ご協力どうぞ宜しくお願い致します。

尚、リディア会の活動等についてInstagram<lydia-kyugaku>にて発信しています。是非フォローよろしくお願い致します。



大同窓会懇親会にて(4月18日)

(S1回率は1948年卒業)

九州学院では、1948年度の新制高校の第1回の卒業生(1946年入学)をSenior(高校)の頭文字をとってS1回、新制中学校卒業生は1945年入学が第1回となり、J(Junior)1回と呼びます。因みに2025年3月の卒業生はS77回、J78回です。

同窓会HP(九州学院公式ホームページ内)には、このQRコードから入れます。スマホ対応画面で過去のニュースなども閲覧出来ます。是非お試し下さい。



祭九学会実行委員の川村(旧姓緒方)祥です。右も左もわからぬままに本年度の会長を務めさせてもらっています。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、実行委員メンバーは一致団結して様々な行事に参加させて頂きたいと考えております。我々祭九学会は藤崎八幡宮例大祭だけでなく熊本で行われる多くの祭に携わって参りたいと思っています。



私たちはこの学舎で育てて頂いた恩をしっかりと次代へ引き継ぎ九州学院のさらなる発展に寄与したいと考えています。



祭九学会実行委員の川村(旧姓緒方)祥です。右も左もわからぬままに本年度の会長を務めさせてもらっています。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、実行委員メンバーは一致団結して様々な行事に参加させて頂きたいと考えております。我々祭九学会は藤崎八幡宮例大祭だけでなく熊本で行われる多くの祭に携わって参りたいと思っています。

2025年度祭九学会
会長 川村 祥 (S53回)

2025年度若手の会
会長 山口 章太 (S54回)

祭九学会

グッズ販売のご案内

九学会S53回実行委員会
TEL/FAX:096-389-9910
(かわむら整骨院内)

●保冷エコバッグも用意しています。



パーカー Tシャツ キャップ



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が拉致被害者家族会で活動中。

「北里柴三郎博士の顔を巨大地上絵で再現」 ～九学同窓生コンビで協力～

「学びやの里」理事長 高橋 正之助 (S25回・1973年卒)



昨年7月に新千円札の肖像となった北里柴三郎博士の生誕地の小国町の「学びやの里」では、木魂館を中心として博士が提唱し、実践した「学習と交流」の精神に則り、人々の生活と文化を育む拠点として、また、ひとつづくりの場として施設の整備、さらには体験型の学習やプロジェクトを実施しています。新札が発行されて以来、訪問される方々が増加しており、スタッフ一同感謝を致しているところです。

さて、昨年10月13日には、博士の記念館に隣接する小国町北里の木魂館グラウンドで新札発行年にちなんだ2024本の傘で柴三郎博士の顔の地上絵を作るという記念イベントを行いました。この日、町民をはじめ熊本県内外の観光客など2000人以上が集まり、地面に突き刺したさおの先端に付けた傘を次々と開くと、小国富士・涌蓋山を背景に、新千円札と同じ巨大な肖像画が見事に浮かび上がりました。

博士の肖像の新千円札の発行を祝したこの大事業を商工会などで立ち上げた「北里博士の地上絵実行委員会」の委員長も同じく九学OBの原山真津雄氏 (S36回・1984年卒) であったことを誇りに思います。

「役に立つ善人となれ」という九州学院の校訓の実践を目指し今後も精進する所存です。



「自分は磨きもつと強くなりたい」と、さらなる成長を誓っています。

い王者は「自分を磨きもつと強くなりたい」と、さらなる成長を誓っています。

2月16日(日)、12回目を迎えた「熊本城マラソン2025」の金

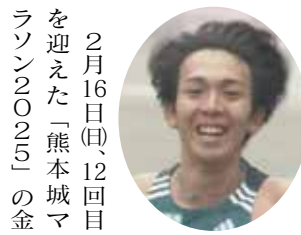
スペイン史研究者の椎名浩氏 (S37回・1985年卒) が、3月末に中央大学出版部から出版された『近世ヒスパニック世界の諸相』(坂本宏編) の第5章「近世ヒスパニック世界から見た日本、近世

WB A世界バンタム級王者の堤聖也選手 (S66回・2014年卒) は、2月24日に有明アリーナで行われたタイトルマッチで同級4位の比嘉大吾選手 (志成) の挑戦を受け、壮絶な戦いの末に引き分けて世界王者のベルトを守りました。旧知のライバルと拳を交える初の防衛戦で、王者は4回に右まぶたから出血するアクシデントに見舞



害や感染症などの事態に見舞われても、介護施設などが業務を遂行できる事業継続計画 (BCP) の策定を推進してきており、その研究成果の発表としてアワードへ応募し、その発表が高く評価されたものです。

は計1万2758人(男子1万277人、女子2481人) が出場し、加藤純平選手 (S69回・熊本市陸協) が5位、石島一真選手 (S66回・サンペルクス) が6位、さらに佐藤大和選手 (S66回・不知火RC) が7位に入るなど三人の九学OBが上位入賞を果たしました。



スペイン史研究者の椎名浩氏 (S37回・1985年卒) が、3月末に中央大学出版部から出版された『近世ヒスパニック世界の諸相』(坂本宏編) の第5章「近世ヒスパニック世界から見た日本、近世

金栗記念熊日30キロードレースで優勝
鶴川正也氏 (S73回)

スベイン史の研究成果を新たに執筆
椎名浩氏 (S37回)

今後の同窓会開催予定
6月21日 大津九学会(菊陽・西原)
6月28日 東京九学会
7月5日(土) 阿蘇九学会
7月20日(日) ボクシング部
創部70周年祝賀会

*学年・クラス会等は除く
この表彰は、熊本市スポーツ振興基金運営協議会が、スポーツ競技で全国規模以上の大会にて優秀な成績を収め、熊本市スポーツ振興に顕著な功績を残した個人または団体などを表彰するものです。

3月7日(金)、熊本市のスポーツ奨励・功労賞の表彰式が熊本城ホールで開かれ、個人としてパリ五輪7人制ラグビー代表の石田大河選手 (S68回・2016年卒) 浦安D-Rocks、団体として

熊本市のスポーツ奨励功労賞に
メー司氏 (S55回)
石田大河氏 (S68回)



九州学院高校剣道部指導者としてメー司九州学院中学校剣道部

各地の同窓会支部
東京九学会
神奈川同窓会
関西九学会
福岡九学会
荒尾・玉名支部
山鹿・植木支部
菊池支部
泗水支部
大津支部
合志支部
小国九学会
阿蘇南部九学会
上益城支部
山都九学会
宇土支部
宇城市同窓会
八代九学会
人吉九学会
あじきた九学会
水俣支部
天草九学会
苓北支部
牛深九学会

プロバスケットボール・熊本ヴォルターズV.G. チアリーダーズV.G. は、ホームゲームでの応援やダンスパフォーマンスで会場を盛り上げ、チームの勝利に貢献することを目指しています。また、地域活性化促進へ貢献するチーム理念のもと、チアスクールでの育成、幼稚園やリハビリ施設の訪問などにも力を入れています。

私はV.G.立ち上げ時からチアリーダーズV.G.とチアスクールの統括プロデューサーを務めさせていただいています。現在V.G.メンバー11名中7名が九学チアダンス部OG。彼女たちの頑張りはV.G.を支えてくれていますが、中でも初代が

熊本ヴォルターズ

試合会場ヴォルテージMAXめざして

V.G.チアスクール統括プロデューサー
吉田佐知子 (S53回・2001年卒)



プロバスケットボール・熊本ヴォルターズV.G. チアリーダーズV.G. は、ホームゲームでの応援やダンスパフォーマンスで会場を盛り上げ、チームの勝利に貢献することを目指しています。また、地域活性化促進へ貢献するチーム理念のもと、チアスクールでの育成、幼稚園やリハビリ施設の訪問などにも力を入れています。



2024-25 SEASON VOLTERS CHEERLEADERS

ナルドの重奨学生認証式
中学生3人、高校生3人に
6月24日(火)、1号館会議室において2025年度九州学院ナルドの重奨学生に対する認証式が行われました。この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として1983年から九州学院同窓会

支給しています。今年度の育英奨学金支給対象者は新入生を含めて中学生3人、高校生3人が選ばれました。授与式では室永芳久校長と青山正志同窓会育英奨学委員長が激励の言葉を述べ、奨学生一人一人に広島秀二会長から認定証と奨学金を手渡しました。